

1

1歳児

赤ちゃん暮らし



やってみたいな・できるかな

見守られて安心

- 大人が意識して、早寝・早起きの生活リズムをつくりましょう。
- 安心して眠れるように、絵本を読んだりそばにいたりしてあげましょう。



やってもらって、うれしい

- 周りの大人が優しく声をかけながら、オムツを替えたり食事をさせたりすることで、赤ちゃんは気持ちよく生活することができます。

自分でできるかな

- 自分でしようとする時には見守ってあげ、できない時には手助けをしてあげましょう。
 - ・ ぼししながらも自分で食べようとした時
 - ・ ズボンや洋服を自分で脱いだり着たりした時



- トイレトレーニングをする時は、オシッコが出ても出なくても、まずオマルやトイレに誘ってみましょう。

これなんだろう?・さわってみたいな!

- 何でも触ってみたい時期です。危ないことは、きちんと知らせ十分に注意しましょう。
- 手をつないでいても、興味のある物を見つけると飛び出したりします。予測できない行動から思わぬ事故につながることもあるので、目を離さないようにしましょう。



お父さん・お母さんと一緒にあそぼ!

- やってみようとする気持ちを大切に、身体を使う遊びや手や指を使う遊びを一緒に楽しんでみましょう。
 - 身体を使う → 歩く、走る、登る など
 - 手や指を使う → つまむ (ボタンのはめ・はずし)、絵本をめくる、シールをはがす、紙を破く など



おしゃべり大好き



- 目を見て話しかけたり、話を聞いてあげたりしましょう。まだ言葉が出ない時期には、表情や動作でも気持ちを表しています。大人がさりげなく言葉にかえてあげましょう。(「〇〇だね」「〇〇したかったのね」など)

- 見たり聞いたりしたことを言葉にします。寝ている犬を見て「わんわん」と言った時、「わんわん寝ているね」など、行動と言葉が結びつくようにしてあげましょう。子どもの発見や驚きを一緒に喜び、好奇心や興味を満たしてあげましょう。



- 人や物に関心が強まる時期です。また、自分の気持ちを親しい大人に伝えたいという気持ちも高まってきます。